

校内研修計画

山梨市立加納岩小学校

1 学校課題

本校の児童は、全体的に素直で男女ともに仲がよい。与えられた課題や学習、興味関心のあることには真面目に一生懸命に取り組むことができる。しかし、規律が守れない、新しい環境になかなか適応できない、人間関係が良好につくれない、自分の思いを伝えられない児童も見られる。

本校は、これまで学力や学習意欲を支える土台として、互いに高め合う学級集団づくりを基盤として様々な研究を深めてきた。その結果、仲間との様々なかかわり合いを経験させることにより信頼関係や学級所属意識が高まることがわかってきた。また、学習過程に意見交流の場面を入れることにより、児童の学びが豊かに深まることも明らかになった。

しかし、教師がよりよい学級集団を育てていく手立てについては、まだまだ研究の余地が残っている。また、児童が自分たちの力でよりよい解決に練り上げていく力についても、まだ不十分な点が見られる。

2 研究主題

「豊かな心の育成」

－ 知・徳・体の調和のとれた教育活動を通して －

3 主題設定の理由

昨年度は、道徳の時間の指導の工夫・改善について研究を進め、教材研究や発問及び発問構成、ワークシート・ポートフォリオの工夫など、道徳的価値の自覚を深める指導の工夫改善に努め、多くの成果を得られることができた。

研究を進めていく中で、互いの考えを認め合い気兼ねなく意見交流することを可能にするには、学級集団が大切であり、道徳の時間のみならず、学力や学習意欲を支える土台としても、互いに学び合い高め合う学級集団が不可欠であるということも改めて見えてきた。しかし、教師がよりよい学級集団を育てていく手立てについては、まだまだ研究の余地が残っており、また、児童が自分たちの力でよりよい解決に練り上げていく力についても、まだ不十分な点が見られる。

そこで、今年度は、これまでの研究の成果を生かしながら、教育活動全体に目を向け、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）のそれぞれの取組を大切に、バランスをとりつつ、児童の育成に当たっていききたい。

具体的には、全ての土台となる学級力向上を基盤に、道徳教育推進校としての研究を継続させ、道徳的価値の自覚を深めるための指導の工夫・改善を行い、「豊かな心」をはぐくんでいく。また、山梨市学力向上の取組として、児童の学力向上に向け算数の活用学習について学んでいく。このように、本校の教育活動を知・徳・体の3の点から見つめ直し、それぞれの調和を図りながら、全人的な成長を促し、「豊かな心」の育成に迫りたいと考える。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 内容

- ① 道徳的価値の自覚を深めるための指導法の工夫・改善を図る。
- ② 既習の知識・技能を活用し思考力・判断力・表現力を生かした算数の活用学習に取り組む。
- ③ 実態調査をもとに、学級力向上に向けた取組をする。

(2) 方法

- ① 基礎研究，理論研究を行う。
- ② アンケート調査による児童の実態把握と評価をする。
- ③ 低・中・高学年ブロックに分かれ，実践的に研究を進める。
- ④ 研究授業及び提供授業により，手立ての有効性や改善策を探る。
- ⑤ 一人一実践を行う。

年間校内研修計画

研究主任 三枝 清美

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	時期	T C要請
豊かな心の育成 印・恵・本の調和のとれた教育活動を通して	研究推進委員会 研究の方向性決定 研究基本計画	研究主任 研究主任 研究主任	推進委員会 全体 全体	4月	
	学級力調査・分析 学習会（講師招聘） ブロック別研究	各学級担任 研究主任 各ブロック長	各学級 全体 各ブロック	5月	○
	学習会（講師招聘） ブロック別研究 提供授業①・研究会	研究主任 各ブロック長 担当ブロック長	全体 各ブロック 全体	6月	
	推進委員会 ブロック別研究	研究主任 各ブロック長	推進委員会 各ブロック	7月	
	公開に向けての打ち合わせ ブロック研究の交流 校内研修会 学級力意見交流 授業案検討①②	研究主任 ブロック長 各講座担当者 各ブロック長 担当ブロック長	全体 全体 全体 各ブロック 全体	8月	
	授業案検討③ ブロック別研究 推進委員会	担当ブロック長 各ブロック長 研究主任	全体 各ブロック 推進委員会	9月	
	提供授業②・研究会 公開に向けての打ち合わせ ブロック別研究 学級力調査・分析	担当ブロック長 研究主任 各ブロック長 各学級担任	全体 全体 各ブロック 各学級	10月	
	ブロック別研究 公開研究授業・研究会	各ブロック長 研究主任・ブロック長	各ブロック 全体	11月	○
	ブロック別研究 提供授業③・研究会	各ブロック長 担当ブロック長	各ブロック 全体	12月	
	道徳意識調査 学級力意見交流 ブロック研究のまとめ	各学級担任 各ブロック長 各ブロック	各学級 各ブロック 各ブロック	1月	
	ブロック研究の交流	研究主任・ブロック長	全体	2月	
	研究のまとめ 来年度の研究の方向性	研究主任 研究主任	全体 全体	3月	

